編 集 後 記

東北地方太平洋沖地震が発生して6年が経過しました。宮城県，岩手県の復興は大きく進んでおりますが，福島県の沿岸部の復旧，復興は未だ数年は要するものと思われます。

一方で，南海トラフ地震，首都直下地震等も想定され，東北の経験を活かした基礎工・地盤改良技術による防災対策，また国土強靭化等の整備も全国的に進められています。

この様な背景から，今月号の特集テーマである「基礎工・地盤改良」は特に重要な技術要件と考えられます。

巻頭言は，本技術に対し多くの知見を有し，学術的に研究を進められている，名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻の中野正樹教授にお願い致しました。

特集報文では，「高機能，施工の省力化，省資材化を達成した防潮堤の開発」，「ニューマチックケーソンによる深さ70 m大深度立坑築造工事」，「狭隘空間でも施工可能な場所打ち杭工法の概要と施工事例」，「地中障害物撤去の新技術・新工法の開発」，「都市高速道路におけるASR劣化が生じた橋脚梁部の再構築施工」，「空頭制限2.0 m以下で施工可能な小口径鋼管杭工法の開発」，「地盤改良体方式斜め土留め工法の適用事例」，「廃棄物最終処分場の減容化技術の開発と施工事例」，「大口径相対攪拌工法の概要と施工事例」，「地盤改良分野のICT活用技術」，「大口径拡底杭工法対応のアースドリル開発」，「三点式杭打機フェニックスシリーズ」，「低空頭，狭隘地で活躍する軽量小型の地中連続壁掘削機の開発」，「地盤改良工事を全自動で施工管理」，「木造住宅の耐震性」等の技術紹介を執筆していただきました。

ずいそうにおいては，現在の土工機械のi-Construction技術革新に対し，あえて機電分野の大先輩である和田航一さんに，土工機械の原点と変遷を執筆していただきました。

最後になりますが，ご多忙中にもかかわらず，快くご執筆を引き受けて下さいました皆様に心より御礼を申し上げます。

（石倉・赤神）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡　亮司　　加納研之助
後藤　　勇　　佐野　正道
新開　節治　　関　　克己
髙田　邦彦　　田中　康之
塚原　重美　　中岡　智信
中島　英輔　　本田　宜史
渡邊　和夫

編集委員長

見波　　潔　村本建設㈱

編集委員

新田　恭士　国土交通省
大槻　　崇　国土交通省
山口　康広　農林水産省
浅野　仁之　㈱鉄道・運輸機構
加藤　　誠　鹿島建設㈱
赤坂　　茂　大成建設㈱
荒瀬　純治　清水建設㈱
三輪　敏明　㈱大林組
久保　隆道　㈱竹中工務店
宮川　克己　㈱熊谷組
中村　優一　㈱奥村組
京免　継彦　佐藤工業㈱
竹田　茂嗣　鉄建建設㈱
岡田　英明　五洋建設㈱
飯田　　宏　東亜建設工業㈱
赤神　元英　日本国土開発㈱
相田　　尚　㈱NIPPO
岡本　直樹　山﨑建設㈱
中川　　明　コマツ
山本　茂太　キャタピラージャパン㈱
小倉　　弘　日立建機㈱
上田　哲司　コベルコ建機㈱
石倉　武久　住友建機㈱
江本　　平　範多機械㈱
太田　正志　施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

8月号「歴史的遺産・建造物の修復特集」予告

・魅せる素屋根の技術と見せる保存修理　・BIMによる薬師寺食堂の復元　・熊本城の櫓を鉄の腕で支える　・経年が100年を超える鉄道土木構造物の維持管理　・国重要文化財の永代橋，清洲橋の長寿命化　・大規模シェル構造ラジアルゲート建設への取り組み　・新橋駅の改良とレンガアーチの補強・保存　・狭山池の改修とその技術の変遷　・歴史的鋼橋の補修補強工事　・3D技術を用いた軍艦島のデジタルアーカイブ　・歴史的建造物の移動（曳家），免震化（レトロフィット）工事について　・消えた建設機械遺産群

【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。　②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもれなく記入のうえFAXにて協会本部へお申込み下さい。
…官公庁／会社名，所属部課名，担当者氏名，住所，TELおよびFAX

年間購読料（12冊）　9,252円（税・送料込）

建 設 機 械 施 工

第69巻第7号（2017年7月号）（通巻809号）
Vol. 69　No. 7　July　2017
2017（平成29）年7月20日印刷
2017（平成29）年7月25日発行（毎月1回25日発行）
編集兼発行人　　田　﨑　忠　行
印　　刷　　所　　日本印刷株式会社

発 行 所　本部　一般社団法人　日本建設機械施工協会
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号　機械振興会館内
電話（03）3433-1501；Fax（03）3432-0289；http://www.jcmanet.or.jp/

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大渕 3154	電話（0545）35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話（011）231-4428
東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話（022）222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話（025）280-0128
中部支部	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話（052）962-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話（06）6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話（082）221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話（087）821-8074
九州支部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話（092）436-3322

本誌上への広告は Santana 有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合せ下さい。
〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町2-21-5　井手口ビル4F　TEL：03-3664-0118　FAX：03-3664-0138
E-mail：san-mich@zam.att.ne.jp　担当：田中